

## シーズン退会までの履歴

- 8月21日(土) 伊良湖キャンプ初日  
栗本すぐ酔っ払う、伊良湖に着くころにはベロベロになっていた。  
キャンプ場で行き先の連携ミスで栗本と倉島と村松で言い争い。  
**原因**  
(1) 昼食後、私と倉島が栗本の乗った車に行き先を告げずに行動したため栗本の車がはぐれた。  
(2) 栗本がキャンプ場を知っていると書いていたが実際にはその場所を間違えていた為合流できなかった。  
**状況**  
(1) 車を乗り合いできているのに俺は帰ると大声を張り上げる  
(2) 公共の場のキャンプ場で真昼間から酔っ払い、大声で喧嘩。  
(3) 三村さんからはキャンプ終了後に反省会を開いてその場で話し合うことを提案したが受け入れられず。  
(4) 三村さんと中村さんがこの場は我慢してくれと頼むが、栗本は「俺の気分悪いのはどうしてくれるんだ」と大騒ぎした。  
とても代表職を務める人とは思えない、ゲンメツ。  
(5) 以降夕食、就寝、朝食まで暗いムード。  
8月22日(日) 栗本は気分(体調)悪いとの理由で帰途につく、残りの2台は予定通り赤羽根で釣りしてから帰宅。  
帰宅後、村松は退会を決意、この先こんな人とは一緒にやっていけないと思った。  
9月19日(日) シーズン杯(ハゼ釣り大会)終了後、栗本に私の退会の意志を伝えた、キリの良い1月納会で退会すること。  
そして、納会時にみなさんに退会のあいさつをしたいと伝えた。  
10月2日(土) 役員会(村松宅)  
役員4名の前で村松の退会の意思を伝えた、退会時期は納会終了後希望する事を伝えた。  
退会理由は伊良湖キャンプでの栗本の態度が大人気なかった為。  
栗本からは酔っ払って記憶がないと発言。(記憶が無い位酔っ払っていたのか。あんたは代表だぞ。)  
10月13日(水) 栗本から村松のパソコンへメール入る。  
**(栗本からのメール内容)**  
「17日の例会時にクラブ関係(トロフィー・カップや人事の資料で引継ぎ関係、大会必要品)を栗本が預かりますので持参願います。」  
10月17日(日) 例会終了後に依頼のあったもの(トロフィー・カップや人事の資料で引継ぎ関係、大会必要品)を栗本に預けた。  
そのときに栗本からは「村松の退会は10月とするよう役員で話し合い決めた」と言われた。  
私はそう伝えられて驚愕した、私の意向とは全く異なる内容が栗本の口から出てきたためだ。  
しかも、役員で話し合い、本人の意思とは関係なく全く違う内容で勝手に決められた。  
村松が「何をした? キャンプでの栗本の泥酔い行動を注意したからなのか?」  
年間賞も今のところ1位なのにここで辞めたらもらえないのでは困ると言い返した。  
(このクラブはクラブ員本人の意向は無視かよ?)  
今まで振り返ると、いつもやめる人には納会で区切りになるのでそれまで出てから退会するよう言うくせに。  
その夜、私は役員達に真意を確かめるためにメールを書いた。  
村松の退会時期は一方的に10月で終了ではなく、村松の希望は納会まで在籍することを  
あらためて4名の役員へパソコンからメールを配信して伝えた。  
栗本が「書いていた「役員で話し合って決めた」が信じられなかったからだ。  
**(村松送信メール内容)**  
「例会(クロダイ)ご苦労様でした、釣果が出ず残念でした。  
早々本題に入ります、  
本日、栗本さんから私(村松)のシーズン退会時期についての話がありました私本人の意向と食い違う内容となっていましたので再度連絡いたします。  
**<要求内容>**  
本日、栗本さんからは役員達で話しあった結果、村松の負担を減らすよう10月をもって退会と言われました。  
**<回答>**  
私は「負担になっている」とか「すぐに退会したい」という事は一言も言っていません、  
なぜ、役員さんで話してそのような結果になったかわかりませんが  
私が10月2日の役員会の時に話したように次回納会までは在籍いたします、退会はその後となります。  
中途半端なところではなく区切りのいいところで在籍することで、受賞の可能性のある年間賞や役員の手当てを  
頂いてから退会する意向です。  
又、在籍中の役員会への出席はどうするのかを栗本さんへ伺ったところ、「次回より出席不要」との事でしたので  
10月23日の役員会よりそのようにいたします。  
在籍時間が残り少なくなりましたが引継ぎなどが必要な場合は在籍中に連絡いただけるようお願いいたします、  
今まで預かっていた賞状、リボン、電子はかり、トロフィー、それとパソコンデータは本日、栗本さんへ渡しました。  
**<村松意向>**  
11月総会 出席 (11月会費は支払い済み)  
12月例会 出席 (12月会費は支払い済み)  
1月例会 欠席 (1月会費¥1,000払います)  
納会 出席  
2月総会 欠席 (シーズン退会)」  
10月18日(月) 栗本から返信がきました、実際は各役員と話合っていないようだった。  
**(栗本からのメール内容)**  
「何故、こんなメールを各役員に展開したの?  
11月総会は顔が出しにくくなりますよ?  
このメールで怒っている役員がいますが、どうしますか?」  
10月24日(日) 栗本から再度パソコンへメール入る、今回は役員同士でしっかり話し合ったようです  
**(栗本からのメール内容)**  
「昨日の役員会で村松氏の脱会について同意された事を連絡します。脱会時期は年度末12月で、年間結果が集計後受賞関係を渡して完にします。  
役員手当ては12ヶ月分支給します。納会には出ないで下さいとの事です。速やかに退いて頂きたい。それと、脱会理由を健康上との事で動いています  
のでよろしく願います。最後に、余談ですが相手も人で情があります! 相手の事も考えて行動願います!  
この件について、納得が得無き場合は場を設けます。  
穏便に事を進めましょう。以上 FishingClubSeason」  
11月14日(日) 例会時に村松退会の連絡をみなさんにもしてもらえると期待したが無駄に終わった。  
11月15日(月) 石原さんからオフ会へ参加できないとの連絡が携帯のメールへ入ったので  
石原さんと栗本(CG)へメールを返信した。村松は12月で退会するので今後の連絡は直接栗本までするようにとの内容。  
**(村松から石原さんへの返信メール内容)**  
「連絡ありがとうございます。仕事がんばって!  
それと、私は12月をもってシーズンを退会します。出欠席の連絡などは今後は栗本さんへ  
お願いします。色々ありがとうございます。」  
11月22日(月) 栗本から村松の携帯へメール入る  
内容は、村松が石原さんへ退会の挨拶メールを送った事を怒っている、私から見れば村松が退会することをメンバーへ  
連絡しないで連絡網をそのまましておく方が問題と思う、役員を辞めさせておいて連絡網から外していない状況は  
おかしいと思いませんか。その他には、ホームページを閉じろという内容でした。  
最後に、今後村松から退会の連絡をメンバーへしたら除名するという脅迫、当然、年間賞も消滅すると書かれていた。  
全く意味がわからない、私がよほど悪い事をしたのなら除名はわかるが、退会の連絡をメンバーへ伝えたら除名とは  
どうゆう事なのか? 栗本は本当に小さな人間だと感じた。  
普通ならば村松は役員をしていたのにもかかわらず、あいさつも無いきり辞める方がメンバーに対して失礼だろう。  
**(栗本からのメール内容)**  
「PCのHPIは一切合齋閉じてください。  
石原さんにクラブ退会の挨拶文を送りましたね!  
次回例会までに再度この様な事態があればクラブを除名あつかいで年間賞から脱落します。  
よろしくです!  
倉島さんとは話付けた...! 情が強いので頼みますね。」  
12月12日(日) 12月例会  
シーズン最後の参加となる、当然、退会のあいさつの場ももうけてくれない。  
私が何か言ったら除名になると脅しをかけられているなんてみんな知らない。  
三村さんがホームページが閉じている事を私に聞きにきたけどその場で本当の事を言えなくてごめんさない。  
あいさつも無くこのままみんなとサヨナラとは。シーズンで6年間一緒に釣りにいた仲間に対して失礼と思う。  
栗本のこんなやり方は絶対許せない。
- 2011年1月 村松退会のあいさつの場が設けられなかったため手紙を発送。  
退会するまでの真実をまとめましたので添えさせていただきました。  
又、ネットで公開しています。

<http://www4.tokai.or.jp/komugi/>